令和７年度「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」活動報告（概要）

【文化財・史跡整備保存事業】
南宮山ハイキングコースの点検整備　(四半期毎)　　5/21、9/24、12/10、3/11実施

当地域の自然や史跡・文化財の保全整備も重要な活動。
特に、年間6千人近い利用者がある南宮山ハイキングコースを定期的に点検して軽微な補修などの整備をおこなっています。
今年度も四半期に一回会員がコースの点検整備のため登山をして、階段や雨水排水路などの異常個所をチェックして軽微な補修を行っています。
また、雨水排水路の設置や階段の大きな損壊の場合には、町からの業務委託として修繕工事も会員で行っています。







【文化財・史跡整備保存事業】
南宮山山麓陣跡の点検整備　(四半期毎)　　5/21、9/24、12/10、3/11実施

当地域の南宮山山麓には3か所の陣城跡があり、掲出している幟旗・棹と付近の状況を定期的に点検して軽微な整備をおこなっています。
今年度も四半期に一回会員が、山頂展望台の「毛利陣跡」や「安国寺陣跡」の異常の有無を点検して、破損した幟旗・棹の交換や「吉川陣跡」の草刈りを行なっています。




【文化財・史跡整備保存事業】　12月3日

「南宮山ﾊｲｷﾝｸﾞｺｰｽの樹木名表示板」設置　参加者　34人

宮代地区内の街中やハイキングコース沿いの樹木に、樹木名を記した表示板を設置して地域住民や来町者に自然環境をPRしようとの目的で、今年度は南宮山ハイキングコースを主体として会員により表示板を設置しました。

南宮山には光を受けて輝く照葉樹(常緑広葉樹)や、陽地性で乾燥に強いアカマツ・春に黄色の雄花が開くシイ・カシ類、尾根に至るまでには針葉樹に混じってヤマザクラ・コナラなどが見られます。会員により樹木の調査や表示板の政策まで行っています。













【文化財・史跡等啓発事業】　　6月17日

自然教室ーモリアオガエル(天然記念物)の観察ー　　宮代小学校4年生　24名

恒例の「千之子ども教室」で毎年宮代小4年生を対象に自然観察会を開催しています。

今年は、南宮大社奥の西蛇池を訪れ天然記念物のモリアオガエルの”たまご”を探しました。

モリアオガエルは、繁殖期になると池畔に張り出した灌木樹枝上に点々と白色泡袋状の卵塊を産み付け、孵化後は直接水中に落ちて変態する修正を持ち、宮代地域はその群生地として岐阜県の天然記念物に指定されています。





講師の廣岡会長からは、モリアオガエルは山から自分の生まれた池に来て産卵することや、孵化後のオタマジャクシの生態を勉強するとともに、池畔の樹木の枝上の卵塊を見つけて大騒ぎをしました。

その後、前日に確保しておいたイモリとヤモリを見ながらその生態を勉強。

また、ペットボトルの中のアマガエルやトノサマガエルを見ながらその生態を勉強しました。

【文化財・史跡等啓発事業】　　10月24日

歴史文化教室(千之子ども教室)ー壬申の乱の関連史跡を訪ねてー　　宮代小学校6年生25名

恒例の「千之子ども教室」で毎年宮代小の6年生を対象に、宮代地区内に伝えられている「壬申の乱」にまつわる関連史跡を訪ねています。

今年も最初に、「美濃国一宮の南宮大社」を訪れ、関ケ原合戦で焼失した南宮大社が、1642年徳川家光により再建された境内の高舞殿の彫り物(蟇股)や本殿など南宮造り特徴を勉強しました。また、南宮大社の神紋当てクイズをみんなで考えました。

その後、南宮大社社僧の菩提寺である正行院を訪れ住職から寺の由緒を説明頂きました。





その後、1350年前の「壬申の乱」時に桑名から宮代古道を騎行し、大峯地区を訪れた大海人皇子が腰掛けた”腰掛石”や兜を置いた”兜掛石”を訪れました。

また、乱の最中に大海人皇子が逃げ込んだ伝説の大杉跡や勝ち栗を家紋として伝えている話に耳を傾けました。

その後は、県下最大級の古代寺院跡の宮代廃寺跡や壬申の乱で多大な功績を認められ”外従五位下”を授けられ、不破の大領となった宮勝木実を祀る大領神社を訪れ「壬申の乱」の詳細な解説を頂きました。

【文化財・史跡等啓発事業】　　１１月２３日

歴史文化講演会　「壬申の乱と宮代地域」　　93名

毎年「宮代地区文化祭」の開催に合わせて、協賛事業として『歴史文化講演会』を開催しています。

今年は、今から1350余年前の飛鳥時代(672年)に起きた「壬申の乱」を取り上げ、宮代地域との係わりについて解説いただきました。

「壬申の乱」は、古代史上最大の内乱と呼ばれ、天智天皇の弟大海人皇子と息子大友皇子が皇位巡って骨肉の争いが広げられたものです。 1350年前の飛鳥時代のこの乱についてあまり知られていないし「壬申の乱」の経緯から「乱」に参加した地域の豪族とその功績や褒賞状況、「乱」の功績でこの地域の古代寺院ができた経過や、「乱」前後のこの地域の氏属豪族の分布などからこの不破地域の独自性について解説いただいき、歴史に溢れたこの地域を再認識することとなりました。





【文化財・史跡等調査研究事業】　　１２月３日

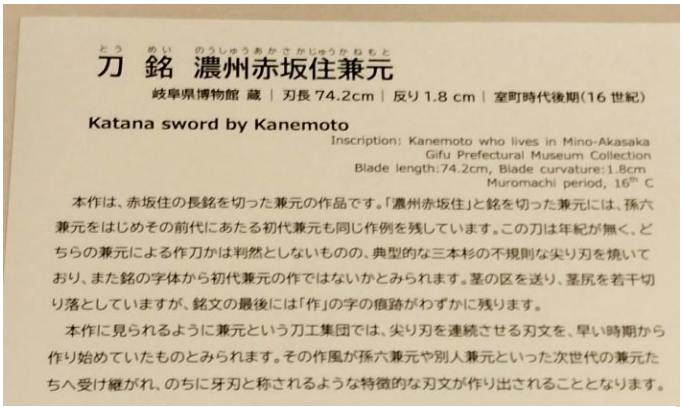
現地研修会　「美濃鍛冶(美濃刀) の実像　　１９名

南宮大社にかかわる「鉄」の文化や美濃国の鍛冶集団特に美濃鍛冶について、関連地域を訪れて美濃鍛冶(美濃刀)の実像を確認しようと19名が参加し現地研修会を開催しました。

日本刀の五大刀工流派の五箇伝(ごかでん)は、大和国(大和伝)・山城国(山城伝)・備前国(備前伝)・相模国(相州伝)・美濃国(美濃伝)とされています。「美濃伝」は鎌倉時代中期に相州伝を学んだ大和伝の刀工たちが美濃に集まったのが始まりと言われ、美濃は日本刀の最大の産地なったと言われています。

現在「美濃伝」は関の刀工が有名であり、古代の美濃鍛冶(美濃刀)集団との係わりを知る目的もあり、関市「関鍛冶伝承館」では、企画展”孫六兼元と三本杉”を学芸員から解説いただき、初代孫六(2代兼元)は1522-1545ころは美濃国赤坂で活躍。二代孫六(3代兼元)も1532-1570ころ美濃国赤坂で活動して以後関に移住したと言われ、美濃鍛冶と関鍛冶の交流があり美濃国の鉄の文化の主流であったことが判明しました。





赤坂住の銘のある兼元(関の孫六)の刀

【文化財・史跡等啓発事業】　　１１月３日

南宮大社宝物殿特別教室　「刀剣」特別説明会　　185名





【文化財・史跡等啓発事業】　　6月20日

「壬申の乱関連史跡」ツアー　(町食品改良協議会)　　２９名





【文化財・史跡等啓発事業】　　１０月１３日

「垂井町戦国演義」ガイドツアー　　１２名

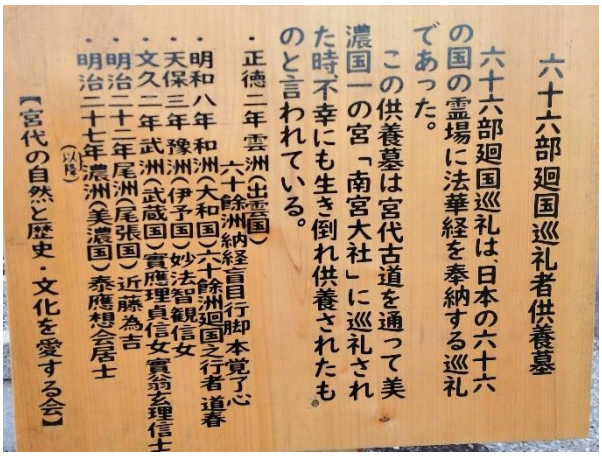


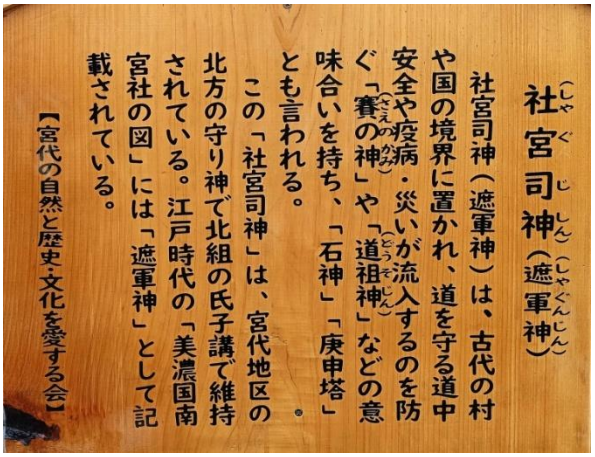


【文化財・史跡整備保存事業】　11月19日・3月11日

史跡案内板設置 ー宮代地域の史跡(行政指定以外)をー　延べ8名

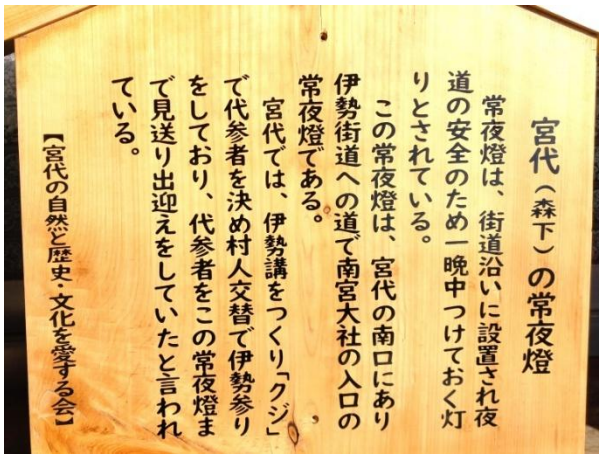


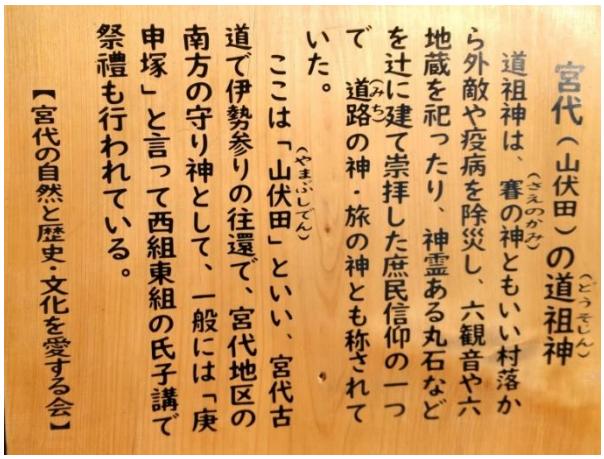














【文化財・史跡等啓発事業】　2月2日

「たるい相川こども鯉のぼり」の作成　宮代こども園年長者17名

垂井町では毎年3月下旬から5月上旬にかけて「相川鯉のぼり一斉遊泳」が行われ、約300匹の鯉のぼりが一斉に相川上空を遊泳し、県内外から多くの観光客が訪れています。

鯉のぼりは各家庭で揚げられていたものをご寄付いただいたものや、町内の小学校の卒業生に夢を書いてもらった吹き流しや、町内幼稚園の卒園児に色を塗ってもらった手作りの鯉のぼりも泳ぎます。

数年前にも幼稚園の皆さんと手作り鯉のぼりを作っていましたが、今年度から宮代こども園の皆さんに色を塗ってもらい手作りの鯉のぼりを作成し、相川で元気に泳ぐの姿を満喫しました。







宮代観光案内所・南宮大社宝物殿 来訪者数

令和7年4月～令和8年3月　（単位:人）

月	観光案内所			宝物殿		
	今年度	前年度	対前年比	今年度	前年度	対前年比
4月	240	391	61.4%	300	284	105.6%
5月	392	356	110.1%	290	223	130.0%
6月	224	225	99.6%	316	375	84.3%
7月	101	288	35.1%	272	156	174.4%
8月	183	151	121.2%	623	177	352.0%
9月	216	275	78.5%	686	295	232.5%
10月	214	171	125.1%	217	259	83.8%
11月	313	217	144.2%	443	623	71.1%
12月	98	81	121.0%	149	136	109.6%
1月	77	149	51.7%	247	315	78.4%
2月	149	87	171.3%	333	212	157.1%
3月	181	324	55.9%	317	292	108.6%
合　計	2,388	2,715	88.0%	4,193	3,347	125.3%

南宮山ハイキングコース利用者数

令和7年4月～令和8年3月　（単位:人）

月	今年度	前年度	対前年比
4月	755	815	0.93
5月	718	631	1.14
6月	695	544	1.28
7月	624	408	1.53
8月	649	450	1.44
9月	576	622	0.93
10月	484	645	0.75
11月	615	719	0.86
12月	425	429	0.99
1月	491	665	0.74
2月	488	327	1.49
3月	677	718	0.94
合　計	7,197	6,973	1.03